

第2期 静岡市文化振興計画（案）

1. 策定にあたって

本市は文化を「ゆとりある健康な心を維持し、生活を豊かにするために必要なもの」と位置付け、市民の皆さんが文化に親しみ豊かな生活を営むための具体的な施策を盛り込んだ「静岡市文化振興計画」を策定しています。

この計画では、**2つの基本目標**があります。ひとつは、文化に親しむ人や地域をはぐくみ、本市らしい歴史に彩られた個性豊かな文化の創造がなされる事。

もうひとつは、文化によって「人のつながり」や「まちのにぎわい」を活性化し、交流を活かした活力あふれるまちづくりをする事です。

この計画は、文化が市民の皆さんの日常にあふれ、潤いのある生活を営んでいけるよう、本市の政策を決める指針としていきます。

現行計画は2022年度で終了...
次期計画：2023年～2030年(8年間)として策定

2. 計画の概要

- ①本市が文化を振興していく上で、条例「静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例」を柱として定めています。
- ②文化のちからにより国内外から多くの人々を集め、訪れる人、住む人を魅了する求心力の高いまちの実現を目指し、2017年4月に静岡市文化振興計画が策定されました。
- ③文化の振興にあたり、
 - ・市民の**自主性や創造性を尊重**すること
 - ・次代を担う**子どもに対する支援や人材育成**が図られること
 - ・市民が**誇りと愛着**を持ち守り育ててきた文化が尊重されその活用が図られること
 - ・本市の文化が**国内外に発信**され**文化による交流が促進**されること
 などが基本理念として掲げられています。

3. 現状と課題

現状	現行計画の成果指標
◆創造的人づくり	普段から芸術文化等の鑑賞や創作・参加を通じた体験などの活動をしている市民の割合 2015年度 40.2% → 目標値 50.0% → 2021年度調査 82.4% 達成
◆創造的魅力づくり	静岡市は、身近に芸術文化等が感じられるまちだと思う市民の割合 2015年度 29.6% → 目標値 40.0% → 2021年度調査 39.7% ほぼ達成
◆創造的にぎわいづくり	静岡市は、芸術文化等を活かしてにぎわいが生まれているまちだと思う市民の割合 2015年度 28.8% → 目標値 40.0% → 2021年度調査 30.0% 未達成

課題

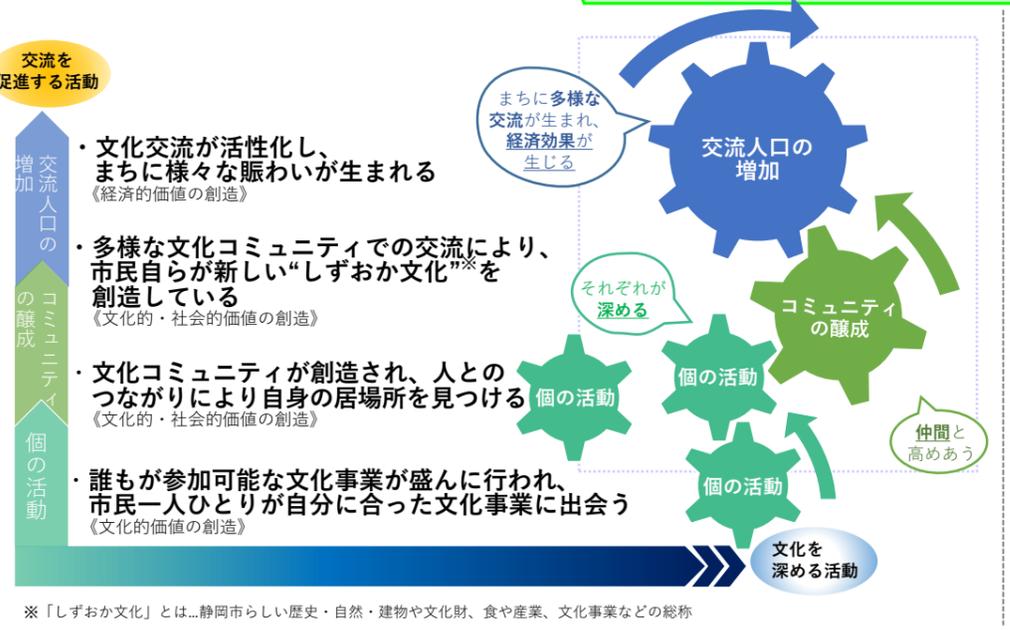
これまでの事業評価から...

- ①身体的・心理的・金銭的など様々な障壁に関わらず、「誰もが」気軽に文化事業に参加する機会を提供する必要がある
- ②文化を中心とした繋がりや居場所に出会い、誰もが心豊かな生活を営んでいけるように環境を整備していく必要がある
- ③ポストコロナに向けた「文化を通じた交流の活性化」によるまちのにぎわいを創出していく必要がある

成果指標の達成度から...

これらを解決していくと... 4.の成果につながる！

4. 予想される将来像・成果



達成に向けたイメージ

(計画前期：2023年～2026年 計画後期：2027年～2030年)

◆課題解決を図り、現行計画の成果をより豊かなものにしていきます。

- ①にぎわいの創出
 “しずおか文化”を深め、その魅力を積極的かつ効果的に発信する機会を充実させ、まちのにぎわいに加え、ポストコロナを意識した多様な文化交流を活性化します。
- ②基盤整備（アーティスト等個々の文化活動促進や施設整備、文化コミュニティの充実）
 人や地域を育て、個の活動や文化を介したコミュニティの醸成を推進します。また、文化に携わる人同士の交流を活性化し、文化施設の整備を行うなど、新たな“しずおか文化”が創造されるための基盤整備を行います。
- ③ソーシャル・インクルージョンの達成 策定
 教育機関や様々な文化事業を営む団体と連携し、誰ひとり取り残さない多様な文化事業の体験機会を提供します。

①、②、③の継続的な実施と蓄積による大きな成果を実現

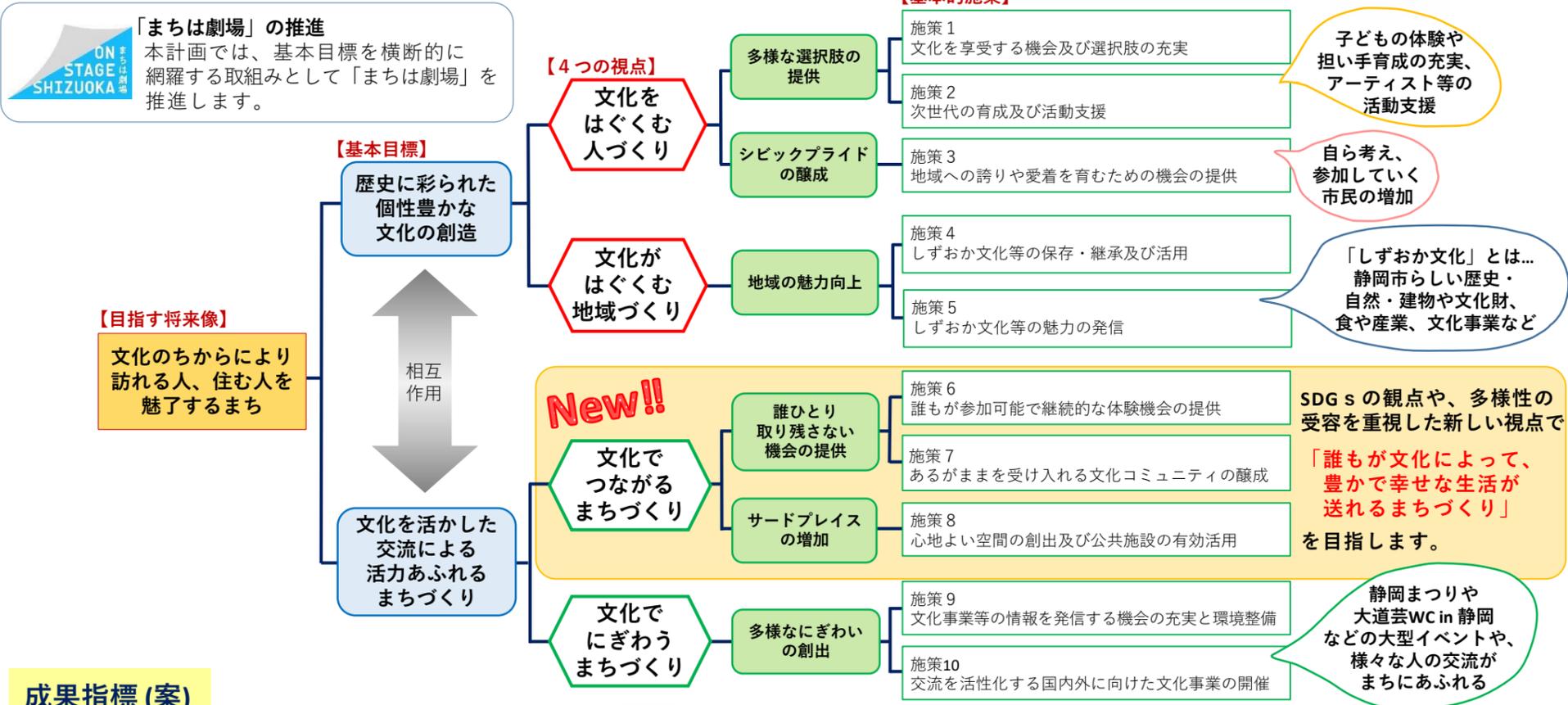
前期 文化振興計画 後期 文化振興計画

2023年 2026年 2030年

※「ソーシャル・インクルージョン」とは...全ての人々を孤独や排除から擁護し、健康で文化的な生活を実現できるように、社会の一員として支えていこうとする理念のこと。

5. 施策（案）

目標を達成するために必要となる取組みとして、4つの視点と10の基本的施策を推進します。



成果指標（案）

計画の最終的な進捗状況の検証の参考とするため、2021年度に実施された市民意識調査の結果を参考に、下記の4つの視点で、5つの成果指標を設定し、本市の文化振興施策の推進を図ります。

文化をはぐくむ人づくり	文化がはぐくむ地域づくり	文化でつながるまちづくり	文化でにぎわうまちづくり
文化活動を行っている市民の割合	静岡市は歴史・伝統文化や地域の魅力が感じられるまちだと思う人の割合	自分自身が、家族や職場・学校以外で文化による「人とのつながり」を持つ機会があると答えた市民の割合	自分自身や周りの人は、祭りやイベントなどの文化事業に参加したり、交流したりする機会があると思う人の割合
2022年 82.4% → 2030年 85%を達成	2022年 58.9% → 2030年 70%を達成	2022年 54.3% → 2030年 65%を達成	2022年 43.5% → 2030年 55%を達成

本市市内における文化による交流客数の増加
 2022年 7,332,000人
 2030年 7,558,000人を達成

6. 推進体制

